

運輸安全マネジメントに関する取り組み

四国交通株式会社
2020年4月1日

1. 輸送の安全に関する基本方針

- ① 社長（経営者）は会社の目標である”安全、安心、快適”なバス輸送の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全に主導的な役割を果たします。
- ② 現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど、現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保がもっとも重要であるという意識を徹底させます。
- ③ 輸送の安全に関する計画の策定・実行・チェック・改善（Plan Do Check Act）を確実に実施し、全社一丸となって輸送の安全性の向上に努め、輸送の安全に関する情報は積極的に公表いたします。
- ④ 輸送の安全に関する費用支出及び投資を、積極的且つ効率的に行うよう努めます。
- ⑤ 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置、または予防措置を講じます。
- ⑥ 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達し共有いたします。

2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

2019年度の実績及び2020年度の目標

	重大事故		有責事故		車内事故		備 考
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
2019年度	0件	0件	前年度より半減	5件	0件	0件	半減目標を達成しました
2020年度	0件		前年度より20%減		0件		

※重大事故とは、自動車事故報告規則第2条に規程する事故に関する事項をいう

3. 2020年度月別安全目標

4月	車両・施設の美化
5月	交通弱者への安全確保
6月	雨による事故・クレームの撲滅
7月	バック事故ゼロ
8月	乗降中のお客さまの安全確保
9月	エコドライブの推進
10月	お客さまの気持ちで接客・対応
11月	目配り・気配り・心配りを大切に
12月	右折・左折の事故防止
1月	「ありがとうございます」を言おう
2月	健康管理に気を付ける
3月	確認の徹底

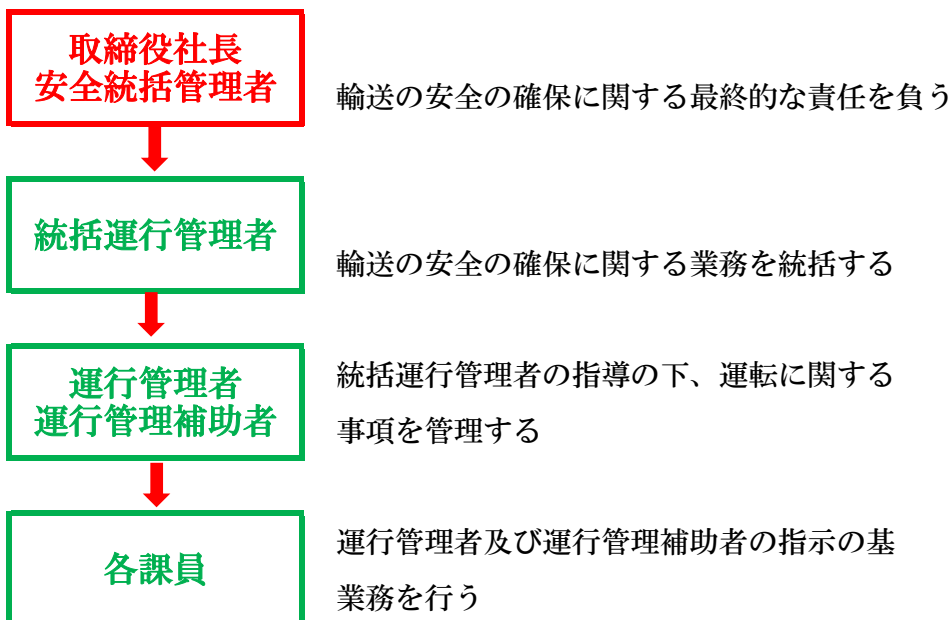
4. 自動車事故報告規則第二条に規定する事故に関する統計

2019年度実績

有責重大事故0件	無責重大事故0件	車両故障0件
車内人身有責事故		0件
車内人身無責事故		0件
車両接触有責事故		5件
車外人身有責事故		0件
車外人身無責事故		0件
車両接触無責事故		0件
車 両 故 障		0件

5. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

※社長をトップとする安全管理組織を構築し、責務を明確にしています。



(注) 安全統括管理者が、病気等で不在の場合は営業部上長がその業務を代行する

6. 輸送の安全に関する重点施策

2019年度に発生した事故および苦情内容を分析し、2つの重点施策を実行します。

① バック事故および静止物への接触事故の防止

動作に入る前に一呼吸（3秒間）間を開け、バックカメラの確認および目視確認を徹底します。

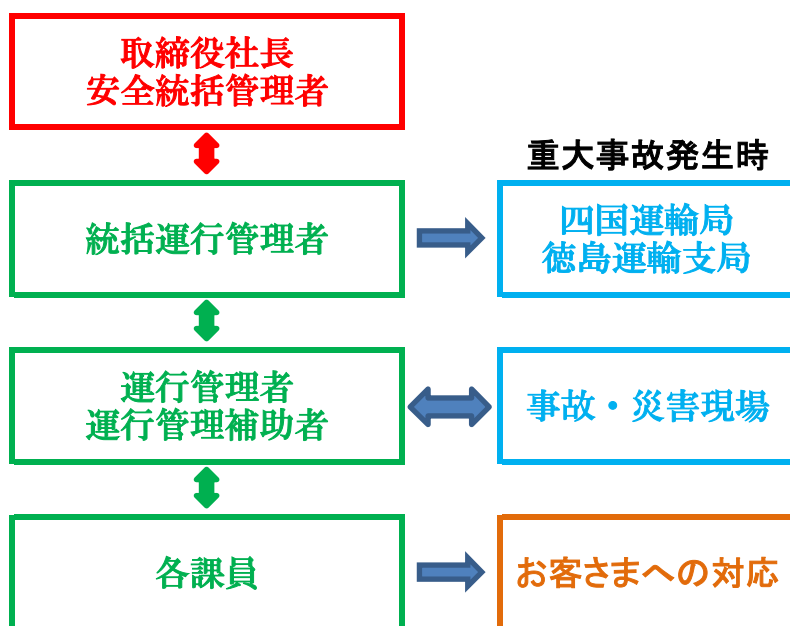
② バス停における確認不足の撲滅

バス停での確認不足による苦情を撲滅します。

7. 輸送の安全に関する計画及び、教育・研修の計画

- | | |
|-------------------------|--------|
| ① 毎月の事故防止目標を掲げる | 毎月末に更新 |
| ② 営業部会議の開催 | 毎月1回開催 |
| ③ 自動車事故対策機構での乗務員適正診断の実施 | 2月頃実施 |
| ④ 運行管理者を対象とした研修の実施 | 年1回以上 |
| ⑤ 事故惹起者に対する指導 | その都度実施 |
| ⑥ 新任運転者の教育 | その都度実施 |

8. 事故、災害等に関する報告連絡体制



9. 輸送の安全に関する費用及び投資

項目	備考
車両関係	新造車両、中古車両の購入(老朽化した車両の更新) 車両器具類 ASV装置の導入 車両整備 等
教育関係	適性診断 適齢診断 運行管理者講習 等
設備関係	ドライブレコーダーの拡充
表彰制度	無事故表彰 等

10. 安全管理規定及び安全統括管理者

- | | |
|-----------|----------------|
| ① 安全管理規定 | 別紙「安全管理規定」のとおり |
| ② 安全統括管理者 | 取締役社長 |

11. 輸送の安全に関する内部監査の結果及び措置内容

毎年2月頃に選任チームを結成し、内部監査を実施します。